

郷土の川を見つめる人々

NPO法人足羽川ふるさと元気の会 ～こどもたちがふるさとを愛することを願って～



山下理事長

豪雨による災害で大きな被害を受けた旧美山町。全国から集まってくれた大勢のボランティアに感謝し、足羽川の清流を守っていくことで恩返しをしたいと今年5月美山をあげた活動がスタートしました。農業組合や中小企業、森林組合などにも声をかけ、また大人たちだけではなく、地区内の小中学校のこどもたちも会員となっています。

こどもたちが参加することで親にも関心をもってもらうことはもちろんですが、こどもたちが、川をきれいにする活動を通して、成人になり、どこに住んでも、ふるさとを愛する気持ちを持ち、ふるさとを自慢に思ってもらえたら、との願いからです。

くわつくりがわ

活動としては年に3回程度、足羽川をはじめ支流の蔵作川、三万谷川などの清掃をしていくそうです。美山で生まれ育つ

た理事長の山下英昭さんは、仕事で一旦ふるさとを離れたことで、より美山の清流の美しさを再認識できたそうで、昔のように、アマゴやイワナ、ウグイがたくさんいる川に戻って欲しいと願っています。

こどもたちにとって今は昔のように川が身近ではないけれど、水害の記憶は強く残り、たくさんの人が守ってくれたことは感じているようです。これから汗を流して川をきれいにした分だけ心にふるさとの清流を思う気持ちが根付くのではないのでしょうか…。



清掃活動の様子

川あらかルト！

水害対策 ～各家庭でできることから始めよう！～

台風、秋雨…これからまた雨の多い季節がやってきます。みなさんは、水害に対する事前対策は万全でしょうか？ 万一洪水が起こった時、すばやく安全に避難するために、福井市では、平成16年の福井豪雨を受けて、ハザードマップがより詳細に整えられました。ハザードマップでは、さまざまな被害が想定される箇所や、避難場所などの情報が明記されていて、浸水の恐れのある区域や、下水道の細くなっている部分等を事前に知る事ができます。このハザードマップを参考にして、いざというときの避難経路の確認や、どんなとき、どういった水害が発生しやすいか等、災害対策を各家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか？ 水害が起こってしまった場合の避難場所は原則として、公民館や小学校となります。緊急時や、避難場所周辺が冠水し危険な場合は、身近にある高い建物や高い土地に避難しましょう。



洪水ハザードマップ・浸水ハザードマップ

避難所にある主な防災装置

●非常用貯水装置

災害時の飲料水を確保する為の装置です。普段は水道管として使用していますが、災害時には非常用貯水槽となります。



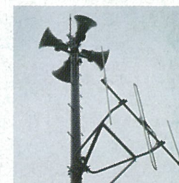
●防災備蓄倉庫

福井豪雨の教訓を踏まえ、主に、各小学校のグラウンドに設置されている高床式の倉庫です。非常食や毛布、簡易トイレなどが入っています。



●防災同報無線

消防庁が緊急入手した災害情報を、同報無線を同時機能させて屋外スピーカーや戸別受信機で住民に伝達する「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」という方式を採用しています。



クイズ答え

A1 ②

昭和27年は実施計画調査に着手した年。昭和48年は40年の奥越豪雨でダム放流能力をはるかに超えた降水量がダム湖に流入し危険な状態が発生したのを受け、排水トンネル工事に着手した年。

A2 全部

発電に関しては、笹生川ダムと同年に完成した雲川ダムからの両方の水を使って発電している中島発電所が、県営発電所としては最も出力が大きいです。

A3 ②

周辺森林の彩りと相まった美しい景観は、ファンも多くアクセスの不便ささえも秘境感をさらにアップさせます。ちなみに、ダム湖名に「ダム」の文字が入るのはとても珍しいそうです。



編集後記 世の中にはダムマニアな人々がいることを、取材の下調べで初めて知りました。大自然の中で人間の技術の結集が贅飾しているって、よく考えたら魅力的な構図かも。紅葉シーズンは、ダム巡りしちゃおうかな。(谷川 みどり)

美しい浄土寺川ダムを見ていると、全国のダムを廻っている「ダムマニア」がいるというのうなずけました。ダムは暮らしを守る為の大切な役割を担う、芸術…と言っても過言ではないかもしれません。(川村 陽子)

毎日見ている風景が少しずつ変わっていく。でも、意識することもなく、大きな変化に気が付いた時には、長い年月が流れている。失くしたものを取り戻すにも、また時間がかかる。水辺の楽校から学びました。(坂口よし子)

玉石の転がる白川原に子どもたちが集う…それが皆の思い描く川の本風景では、と取材の度に感じ、またひとつそんな空間が増えた(戻った?)ことをうれしく思います。(鍋屋 祥代)

編集・お問い合わせ先 NPO法人 ドラゴンリバー交流会
〒918-8031 福井市種池2丁目305(福井市治水記念館内) TEL&FAX 0776-33-1850
http://www.doragon.or.jp Email:info@doragon.or.jp

発行 福井県

かわらばん ふくい

第2号

2009.9 発行



浄土寺川ダムを訪ねて

～事業採択から20年、ついに完成！～

真名川水辺の楽校

～ふるさとの川、真名川を魅力ある水辺に～

【写真提供 真名川水辺の楽校ジオフレンズ】

めざせ！KAWA博士!!

私たちの暮らしと深い関わりがある「ダム」。県内の数あるダムの中でも、歴史のある笹生川ダムから出題。さあ、何問正解できるかな？

Q1 笹生川ダムは、福井県が作った最初のダムですが、完成したのはいつでしょう。

①昭和48年 ②昭和32年 ③昭和27年

Q2 笹生川ダムの役割のうち、正しいのは次のうちどれでしょう。

①灌漑用水 ②洪水調節 ③発電 ④上水道

Q3 笹生川ダム湖の色は何色？

①ダークグレー ②エメラルドグリーン ③赤みがかった褐色



浄土寺川ダムを訪ねて ～事業採択から20年、ついに完成！～

今年3月に建設事業が完了した「浄土寺川ダム」は、これまでのダムとちょっと違います。周囲の景観とマッチし、スッキリとしたたたずまいは、建造物にもかかわらず違和感がありません。ダムが2つあるのも特徴です。上流のダムは「貯砂ダム」で、本ダムに砂が流れ込むのを軽減する（砂を貯める）ためのダムです。その上流側には広場が整備され、レクリエーション機能もあわせ持っています。

ダム事業の目的

洪水調節	ダム下流浄土寺川沿川の洪水被害の低減
流水の正常な機能の維持	水枯れが少なくなることで、豊かな河川環境を維持できる。夏は田んぼ、冬は流雪用の水を確保できる。
水道用水	勝山市の水道用水として2,900 m ³ /日を確保する。

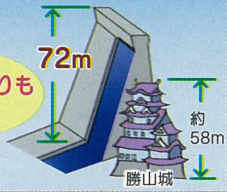
ダムおよび貯水池データ

たまる水の量
2,160,000 m³

東京ドーム
2杯分！

高さ

勝山城よりも
高い！



ゼロエミッション

最大の特色の一つに、建設の段階から環境に配慮した点があげられます。周辺で希少な鳥（クマタカ等）が発見されたため、工事中の騒音や照明などに配慮したほか、工事で発生した不要なコンクリートを砕いて盛土に利用したり、伐採木をチップ化して切土斜面の被覆に利用するなど、廃棄物を現場外に搬出することなくゼロエミッションに努めました。

★ゼロエミッション…廃棄物を出さない製造技術を開発する計画。ある企業・産業で排出される廃棄物を、別の企業・産業の原料として使うなどして、トータルで廃棄物をゼロにしようというもの

～体力勝負?! ダム管理のお仕事～

ダムに従事する方の仕事にはどんなものがありますか？

日常の監視・巡視時に特に注意しているのは、大雨などにより上流からの流木、ゴミなどの流れ込みです。もし流れ込みば、支障がでる事が考えられるからです。大きなものや、動物の死骸等が流れてくると、処理するのに苦労することもあります。

うー…。想像したくない場面ですね。他にも日常的に大変なことはありますか？

ダム本体内に監査廊と呼ばれる通路があり、ダムの安全管理のためいくつかの項目を計測しています。その中のひとつ地下水圧では合計63箇所に地下水圧計（地下水圧を計測する筒）が設置してあり、最低週1回急勾配の階段を昇り降りしながら計測しています。地下水圧計は階段に沿って点々と設置してあるので、エレベータは使えません。通常の公共施設等の建物の階段より少し急なせいか、階段の昇り降りは結構大変です。



見るだけで疲れてしまいそうな階段…

浄土寺川ダムは積雪量の多い場所にあります。冬ならではの苦労話がありますか？

冬期積雪の際はダムまでの道が通行止めになるため、ダムは無人的になります。しかし、ダム本体で異常が発生するなど、必要が生じるとダム下流の集落から雪の中4kmの道のりを2時間かけて歩いて調査等に行くこともあります。

ダムでのお仕事というのは、私たちが思っている以上に体力勝負だったんですね。これからも、頑張ってください。

浄土寺川ダムを歩いてみよう！

目もくらむ高さ！

実際に見ると、迫力が断然違います。あまり身を乗り出して覗き込まないでね。



ダム越流部▶

学びがいっぱい！

水際まで近づけ、自然とふれあえる造りになっています。水辺にはどんな魚や虫がいるかな？ダム周辺ではどんな草花に出会えるかな？



▲親水場所

親しみ感じるスポット

ダム上流には公園があり、ちょっとした憩いのスペースが広がっています。のんびり湖面に映る雲を見ながら辺りを散歩したりお弁当を食べるのもよいかも知れませんね。トイレも完備されています。



湖面公園



ダムカードget！

現地に行かなければ収集できないことから、ダム愛好家などの間で静かに人気を集めているダムカード。ダムの写真や情報が載っています（ダム監視所でもらうことができます）。



▲浄土寺川ダムカード

お魚の道！

生き物にもしっかり配慮！かわいい魚の絵が目印の魚道。探してみね。



サイレンが鳴ったら直ぐに移動しよう！

これは、警報局と言って、川のそばにいる人に危険を知らせる役目を担っています。急激に水量が増えたりしたとき、サイレンが鳴ります（10分に30cm以上水位が上がる時）。



市民に愛されるダムを目指して…



6月10日の見学会に参加していた皆さんにお話を聞きました

●私たちの生活に関わりが深い浄土寺川ダムに親しもうということで、見学会に参加しました。新緑の中の美しいダムを見ることができ、管理事務所の方からダムに関するお話も分かりやすく聞くことができました。次はまた紅葉の季節に来てみたいと思います。（60代女性）

●ここに来るのはこれで3度目になります。まだ工事をしている段階から、水を張る前の様子など、興味深く見ていました。水に親しめる場所もあるので、最近では孫を連れて遊びに来ています。魚等、川に棲む生き物を観察する事ができ、大喜びでしたよ。（60代女性）

●当初は、日本で初めてレジャー施設を兼ね備えた複合ダムになるという説明だったように思います。勝山市の観光の柱となる事を期待していましたが、工事期間があまりにも長く、もう少し早い時期に完成していたら、もっと沢山の人が足を運んだのではないかと思います。（70代男性）

真名川水辺の楽校

～ふるさとの川、真名川を魅力ある水辺に～

かつては、子どもたちの遊び場として豊かな水辺を保っていた真名川ですが、長い年月と環境の変化で、河原の風景も大きく変わりました。土砂が堆積し草や樹木に覆われた河原をかつての豊かな水辺に再生し、もう一度子どもたちのたわむれる川にしたい、誰もがふるさとの川「真名川」を誇れるようにしたいと、真名川の下流側約700メートルを「真名川水辺の楽校」として整備しました。

平成13年、国の「水辺の楽校プロジェクト」の登録を受けたのを機に、平成15年に大野市で実施計画案が立ち上がりました。翌16年4月に県の事業として着手し、平成21年6月に工事が終了しました。

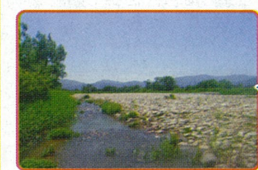
再生へのみちのり



着工前の真名川の河原です。



樹木の伐採と草刈りをして、遊歩道を整備しました。



掘り出された昔の玉石を使い、白河原を復元しました。



堆積した土砂を掘り返します。



航空写真



施設平面図

工事担当者からひとこと

みんなで水辺を守り育てていけるように地域の知恵と視点を大切に取り組んだ水辺の楽校も、ようやく工事が終わりました。私たちの役目は一旦終わりますが、水辺の楽校にかかわった人たちが、ここから新たな環境感を育てていくことを期待します。そして、子どもたちの遊びと学びの場として、いつまでも愛されてほしいです！

真名川再生事業として「水辺の楽校」が整備されていく中で、維持管理や運営業務が任意団体「真名川水辺の楽校ビオフレンズ」に委託されるようになりました。

真名川水辺の楽校 ビオフレンズ

水辺の楽校の計画策定などに協力したメンバーが中心となって平成16年5月に結成され、大野市在住のメンバーを中心に15名で管理・運営しています。

水生生物や植物を中心とした自然観察、水辺の安全講習会などを通して、川との付き合い方を学び、川の環境に興味をもってもらうことで、川に対する意識の向上を図ることを目的としています。これまでにバイカモの保全プロジェクトに着手したり、県内初の試みとなる貴重種であるミクリの保全のための間引き作業などを行ってきました。また、川の形状や自然環境も常に変化しているためメンバーによるモニタリング調査を受けて、その結果からイベントや管理作業を行うなど活動が連携しているのも特徴です。



今後は流れを人工的におこすフラッシュ放流と、水辺の環境

への影響を科学的に証明していきたいとのことで、これからの活動に期待が高まります。

10月下旬に森目小学校校区を対象としたピオトープの整備を行い、森目小学校の児童や保護者、地区の人たちも参加し、地域とピオフレンズが協同で取り組む予定です。代表の高津琴博さんは「もっと川に近づいて、ごみなどの現状もみてほしい。生物を見つけ観察することで自発的に環境への意識が高まるのではないかと話している、大野市民に認知され参加してもらえるようにこれからが正念場のような感じです。



モニタリング調査で得られた情報や資料は、イベント時の基礎となったりガイドブックづくりなどに役立てられます。



水生生物の標本▶